



甲斐岩間駅に到着した「いちかわみさと号」
JR東海静岡支社長と久保町長



ドローン撮影 人文字「印」



はんこ早押し大会



逆さ文字字入れ大会



伝統芸能「五行の舞」



六郷太鼓「響」



中央通りですれ違う2基の神輿



峡南高校応援団

「はんこ日本一六郷の里秋まつり」が11月5日、六郷小学校グラウンドで開催されました。はんこ神輿の練り歩きで始まったイベントは、篆刻体験をはじめ地場産業、子どもの仕事体験コーナーや様々な屋台が出店。ステージでは伝統芸能「五行の舞」や「応援団吹奏楽」の発表、「はんこ早押し大会」「逆さ文字入れ大会」「篆刻体験表彰式」が行われ、表彰式では、町長賞に輝いた小笠原龍篤さんが表彰されました。ほかにも、今回初の試みとして、会場内に人文字で「印」を形作りドローンを飛ばして撮影しました。また、秋まつりに合わせ1日限定臨時急行「いちかわみさと号」が浜松―甲斐岩間で運行され、列車内では町のPR、おもてなしが行われました。訪れた多くの方は六郷地区の散策や秋まつりで楽しみ、いちかわみさとを満喫しました。

秋まつり

第11回はんこ日本一
六郷の里秋まつり

神輿

秋晴れに3基の神輿練り歩く

秋の例大祭が11月3日、各地区で開催されました。高田地区の一宮浅間神社では、担ぎ手を地区外からも募り、今年には約80人が集まりました。宮出しでは、お揃いの法被姿の担ぎ手が狭い楼門に当たらないように慎重に神輿を運び出し、活気あふれる掛け声で、高田地区を練り歩きました。弓削神社では、町民の安全や幸福を願い、約40人の白装束姿の氏子が神輿を担ぎ、鳥居をくぐった後、御崎神社までの往復を練り歩きました。八幡神社では、氏子らが中心となり、担ぎ手不足により中断していた神輿の巡行を12年ぶりに復活させ、約30人の担ぎ手は、背中に菱紋があらわれた白装束姿で、中央通りなど神社周辺を練り歩きました。中央通りで弓削神社と八幡神社の神輿がすれ違う際には、氏子のかけ声もひととき大きくなり、にぎわう場面を多くの人が見守りました。



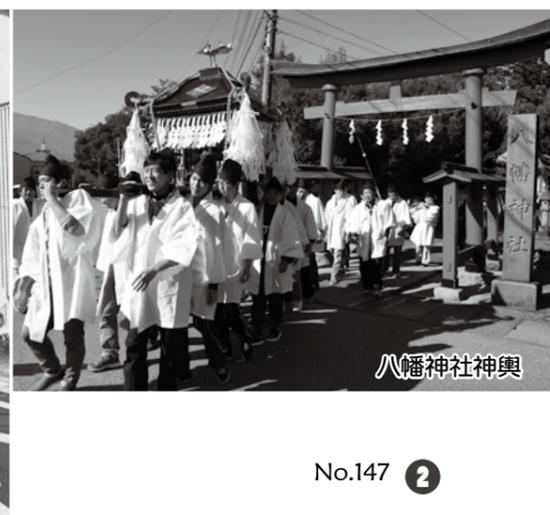
はんこ神輿



浅間神社神輿



弓削神社神輿



八幡神社神輿



▲にん・どん・ぼん体操の様子

第11回いちかわみさと健康と福祉のつどい

今年で11回目となる「いちかわみさと健康と福祉のつどい」が11月12日、歌舞伎文化公園ふるさと会館にて開催されました。式では「虫歯のない5歳児」に青木菜々海さんら43名、「90歳以上で自他共に認める健康づくり実践者」の岩本正樹さんら5名、80歳以上で自分の歯が20本以上ある「8020表彰」には伊藤介恵さんら8名、「88歳以上で共に元気な夫婦」に赤池忠さん・静さんご夫婦ら8組が表彰されました。

また表彰式終了後は「にん・どん・ぼん体操」や「かんたん!!手話講座」などが行われ、手話講座後には市川小学校手話クラブ・三珠保育所園児が手話歌を披露しました。「ひいくんのあるく町」の上映会では、会場にいるすべての方に見て頂けるように字幕付き特別版が上映され、会場は多くの来場者でにぎわいました。



当日、表彰を受けた皆さまを掲載させていただきました。■虫歯のない5歳児表彰者(写真右側) ■90歳以上で自他共に認める健康づくり実践者表彰者(写真①~③) ■8020表彰者(写真④~⑧) ■88歳以上で共に元気な夫婦表彰者(写真⑨~⑫)

▼上映後舞台あいさつを行う青柳監督とひいくん



青柳 拓 監督

▼手話歌を披露する、市川小学校手話クラブと三珠保育所園児



久保眞一 町長再選

任期満了に伴う市川三郷町長選挙の投票票が10月29日(10月24日告示)行われ、久保眞一氏が再選されました。また、10月30日には、当選した久保眞一町長に、岸本國雄選挙管理委員長から当選証書が付与されました。

「町民の皆さま、誰もが幸せに暮らすことができる町に」平成17年10月1日市川三郷町が誕生し町長に就任したときからそう願って町政に全力を注いできました。「平和で安穩に暮らすことができる町でありたい」と願っています。行政は一つひとつの結果の積み重ねであり「行政は日常にあり」が信念です。主要政策は「教育」「福祉」とりわけ子育て支援、子どもの貧困対策、高齢者福祉など「医療」「財政再建、健全化」「人口対策」「地域振興」災害から町民の皆さまを守る「災害に強い町づくり」です。

行政の指針は、平成27年8月策定の市川三郷町人口ビジョン、平成27年12月策定の総合戦略平成29年3月策定、町の最上位計画、第2次総合計画(平成29年4月から平成39年3月までの10年間)の確かな実行です。また、町にとりまして歴史的なこととして、県立高校峡南北部3校を再編し、1校とする県の計画です。町の対応は、市川高校同窓会、PTA、学校長、歴代学校長、管内中学校PTA、町議会、町、はじめ関係者で構成する、市川三郷町高校再編整備検討委員会を平成26年9月12日に発足し、委員会7回、常任委員会10回計17回の検討を重ね方針を決定しました。内容は「再編新設高校の設置場所は、生徒の利便性と安全性を考え、市川高校の現在地に求める」「未来創造型教育と地域密着型の知の拠点と位置づける」などを平成27年12月21日、県に要望しました。

その結果、大正3年6月1日、市川大門町立市川女子実業補習学校の創設から校名を町立市川高等学校、県立市川高等学校と103年の歴史ある現在地と周辺を含む地に設置の決定を平成28年9月21日にいただきました。新設高校の計画面積は45,000㎡。現市川高校の面積は35,000㎡で周辺を含めますと計画面積45,000㎡以上となります。昭和55年建築基準法が改正され、政令新耐震設計法(構造計算)導入前の建物として建て替えが必要な主な建物は「寿会館(中地区公民館)昭和38年築54年」「市川保育所昭和46年3月築46年」「富士見保育所昭和51年3月築41年」「町民会館昭和55年9月築37年」です。寿会館は閉鎖。保育所2園は高校再編以前から幼児の安全から一部耐震補強し、別の場所に建て替え計画していました。新園舎は平成30年6月に完成予定です。面積は2園合計面積の2.7倍となります。町民体育館は、昭和60年7月築32年であり、数年で建て替えの時となります。町にとりまして、新設高校として2年後の平成31年4月の中部横断自動車道の六郷以南の開通。10年後の平成39年のリニア中央新幹線東京―名古屋間の営業開始など交通体系は大きく変わります。町民の皆さまと共に市川三郷町発展のため、全力で取り組みます。

久保眞一

【本館】☎055-272-8888
 ■10月31日火に閉館いたしました。新図書館開館へ向け準備中です。
 【三珠分館】☎055-272-1204 開館時間 9:00～17:00
 ■休館日：毎週日曜と月曜・祝日・年末年始
 【六郷分館】☎0556-32-2002 開館時間 [平日] 正午～19:00 [土・日] 9:00～17:00
 ■休館日：毎週月曜・祝日・年末年始

図書館クリスマス会

～楽しいお話が盛りだくさん！
 友達も誘ってみんなで来てね～

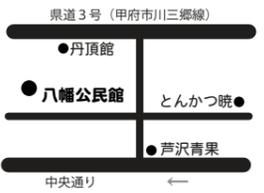


12月9日 土
 午後1時30分～3時

【場所】下地区公民館
 【内容】パネルシアター、絵巻ばなし、手袋人形、大型絵本、手遊び ほか
 【出演】トロコ、まっくろくろすけ

今月のおはなし会 気軽にどうぞ！

■本館- [乳 幼 児]
 12/21 (木) 11:00～11:30
 ※会場が11月より変更となりました。
 新会場：八幡公民館 (ふれあいいきいきサロン)
 市川大門1232番地
 ■三珠分館- [幼児～小学生] 毎週 (火) 15:30～16:00
 [乳 幼 児] 12月はお休みです。
 ■六郷分館- [幼児～小学生] 12/19 (火) 15:30～16:00



新着図書

■六郷分館 一般向け

『100歳の生きじたく』
 (吉沢久子・著 / さくら舎)



「今日という1日は今日しかない」ということをいつも心に留めひとり暮らしを続ける著者の日々を紹介しています。前向きに考え、悔いの残らない生き方を学ぶ大切さが伝わってくる1冊です。

■三珠分館 児童向け

『ごはんはおいしい』
 (ばくきんみ・文 / 鈴木理策・写真 / 福音館書店)



「ごはんはごはんになるまで、いっぱいおはなしがあるんだよ」おばあちゃんが語る、四季を通して伝える言葉と写真で味わう、ごはんをめぐる物語。



三珠・六郷合同イベント

「たのしいパペット歌とおはなし会」
 文京交流センターで「たのしいパペット歌とおはなし会」を開催しました。かわいい動物たちのパペットがおしゃべりしたり、歌ったりする姿に参加者は興味津々でした。大型絵本『はらぺこあおむし』はあおむしのパペットが登場し絵本の上を動き回り子供たちは夢中で見ていました。最後に紙コップパペットをみんなで動かして楽しみました。

(10/22 六郷分館)

図書館 朗読サロン

市川大門町民会館で、朗読サロンを開催しました。笑いあり感動ありと、いろいろな作品を朗読して頂きました。皆さん、それぞれの作品に熱心に耳を傾けていました。

(10/28 本館)



閉館した本館では… 引っ越し作業中!!

図書館内の本、視聴覚資料の箱詰めを行っています。
 図書館には、たくさんの本、資料が詰まっています!!



第24回 大門碑林 全国書道展 入選作品

(敬称略)

今年で24回目の開催となつた大門碑林全国書道展の入賞作品が出揃いました。全国から3,663点もの作品が寄せられ、第1部(幼児～中学生)では荒井優月さん、第2部(高校生以上)では中村萌春さんが、みごと大賞の荣誉に輝きました。大会大賞の作品は大門碑林公園内に刻碑され、永久保存されます。

今年で24回目の開催となつた大門碑林全国書道展の入賞作品が出揃いました。全国から3,663点もの作品が寄せられ、第1部(幼児～中学生)では荒井優月さん、第2部(高校生以上)では中村萌春さんが、みごと大賞の荣誉に輝きました。大会大賞の作品は大門碑林公園内に刻碑され、永久保存されます。

町教育委員会生涯学習課 ☎055-272-6094

大会大賞



荒井 優月 (双葉中3年)

第1部



第2部



中村 萌春 (東京都)



神野藤 愛果 (甲府東中1年)



河野 碧海 (上条中2年)



太田 衣咲 (甲府東小5年)



南部 颯汰 (西条小6年)



金谷 来河 (玉穂南小3年)



三井 花恩 (豊富小4年)



稲葉 美桜 (祝小2年)



南 れら (菲崎北西小1年)



羽田 百佳 (柏保育園)



飯田 亜矢 (駿台甲府高)



辻 来夢 (東京都)



加藤 千尋 (甲府東高)



木村 総江 (甲府市)



三浦 俊峰 (富士河口湖町)



村松 春泉 (笛吹市)



中村 草丘 (静岡県)



志賀 捺加 (山梨高)



長阪 和美 (中央市)